

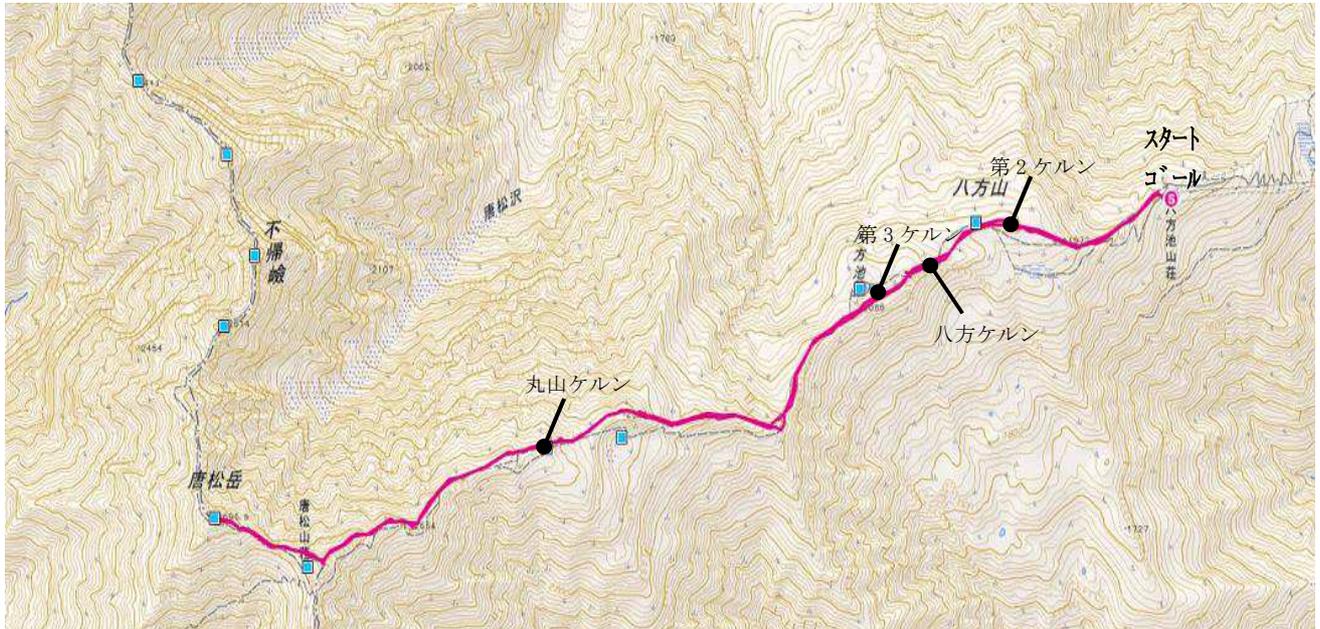
デンソー山岳部 2015年度 春山合宿B報告書

■山域 後立山連峰

■日程 平成27年4月29日～5月1日(予備日1日)

■メンバー 吉田 明和(CL) 谷川 圭介(SL) 神戸 和広(食糧) 日置 友巳(装備)
 白井 広憲(会計) 町田 修(渉外) 津田 廣一(渉外) 金子 清(渉外)
 天野 広(記録) 後藤 新(記録)

■ルート



第1日 : 4/29(木) 晴れ 歩行=3H30M

【行動記録】 前夜発(刈谷) — (前泊:道の駅「白馬」)

起床(6:00) ⇒ 八方スキー場駐車場 第3駐車場(7:30) — 八方池山荘発(8:40)

— 第2ケルン付近 1本(9:00) — 第3ケルン付近 1本(10:10) — 丸山ケルン 1本(11:10)

— 唐松山荘〔テン場〕(12:10) — 唐松岳山頂(13:30) — 唐松山荘(14:00)〔テン場〕 — 就寝(20:30)

前日(4/28)に刈谷を出発、道の駅「白馬」の駐車場にテントを張り就寝した。

6時起床、1日目はA・B隊ともに同じルートを進む。ゴンドラ、リフトを乗り八方池山荘へ。谷川SLトップで登山開始、天候は晴れ気温が高く私がウェアを着込んでいた為、登山開始早々第2ケルン付近でウェア調整。



八方池



唐松山荘より山頂方面

八方ケルン、第2ケルン、第3ケルンを過ぎ八方池に到着、この時期は八方池に雪が積もっている為、池の面影がありませんでした(夏にも登山したいと思いました)。

登山開始からゆっくりペースで約3時間30分かけて唐松山荘〔テン場〕に到着。唐松山荘付近にエスパース、V6、V8を張った後、唐松岳山頂へ。唐松山荘から望む唐松岳山頂は遠く感じましたが、ザックをテン場に置いてきた為、体が軽くあつという間に山頂に着きました。唐松岳山頂からの眺めは天候よく絶景でした。

その後、テン場に戻り、夕食、歓談をした後20時30分就寝（記：後藤）



唐松岳山頂にて

第2日：4月30日（木）晴れ 歩行=2H40M

【行動記録】 起床（4：00）—テン場発（6：00）—アイゼン装着（6：20）
—滑落停止訓練（7：00～7：30）—アイゼン外す一本（7：40）—八方池山荘（8：40）
—ゴンドラ降り場（9：15）—みみずくの湯入浴（10：00）—梓川SA食事（12：10）—一部室（15：45）

テントを出てみると目前に剣岳がドカーン！今日も晴れて気持ちが良い。雪山初心者とともにテントの撤収を行い、5：50 A隊の安全を祈り握手で見送る。山荘からピークへ登るとベールのような薄い雲海が広がり、下界からの反射が幻想的な風景を醸し出している。雲海上には八ヶ岳・南アルプス・富士山が頭を覗かせている。尾根に雪は少なく途中でアイゼンを装着する。アイゼン歩行が初めての新人に、神戸君を中心に装着方法と歩き方を指導する。途中の適当な斜面で滑落停止の練習をしながら下山。最初のリフトの途中に、長野オリンピック滑降スタート地点の看板があり、レースの様子を想像して見て観戦したかったなと思う。



滑落停止の練習後にて

帰りのゴンドラは長く感じ、恩恵に与かっているなど感じた。（記：天野）

<食料所見 神戸>

メニュー

- 1 日目 夕 寄せ鍋、ご飯、海藻サラダ
- 2 日目 朝 雑炊

計画では、2日目朝にうどんの予定であったが、前日の雑炊の余りが丁度朝ご飯に良い程度に残った。毎回だが一人分の米の消費量につかめない。全く食べられないのは合宿に参加してシャリばてしてしまうのではないかと感じてしまう。今回鍋にしたが、地元の一部食材店では白菜やたらは売ってなかったので、毎年計画できるものではないかも知れない。今後メニューの検討が必要と感じた。

< 装備所見 日置 >

平地合宿時の装備点検・分担、下山後の共同装備点検でしっかり洩れなくチェックしたつもりがテントごとの必要数を数え間違え竹ペグの不足があった事、深く反省。

あと登山前チェックを怠った事は大きなミスと痛感している。以後、登山前チェックは実施していきたいと思いました。（神戸さん持参ペグに助けられました。感謝です）

今回初めての装備担当であった事、入部後初めて部室に入った事もあり装備保管配置や、部共同装備に何があるかよく分からず、勝手にきなかった事を反省します。

< 会計報告 白井 >

収入

項目	小計	備考
会費（1名）	6,900	現地解散（帰りの交通費無し）
会費（9名）	82,800	9,200円×9人
合計	89,700	

支出

項目	小計	
食費	10,000	寄せ鍋具材、うどん、お米、コーヒー・紅茶、おつまみ他
ゴンドラ・リフト代	2,900	2,900円×10人
テニ場代	89,700	900円×10人
高速代	22,120	往復11,060円×2台
ガソリン代	14,000	
車消費税	5,580	5円/Km
合計	89,700	

< リーダー所見 吉田 >

快晴の下、唐松岳山頂では素晴らしい眺望を望むことができた一方で、例年よりも積雪量が少なく合宿としては物足りない一面もあった。そんな中、雪山合宿初参加者が3人もいたことがとても嬉しかった。

今後は各人が雪山の集大成である冬山合宿に向けて、直近の岩登り講習会、夏山山行を通じての体力強化、冬山偵察山行と継続的な登山技術・体力の向上に努めていきましょう。

< 感想 >

今回初めてSLとして先頭を歩かせて頂き、メンバーのペースに気をつけて、緊張気味に歩いたが、ルートは地図を見る必要が無いほど、トレースがしっかり有り安心できるコースだった。晴天で暑さを覚悟していたが、涼しい風が吹く爽やかな山行で、逆にテントでのビールがバテバテの時より物足りなく感じてしまった。とは言え、山頂での語らいは楽しく、来て良かったと実感。リーダー・メンバーに感謝です。

【谷川】

昨年春山に引き続き食糧係りを仰せつかり、今回前日の準備のために一旦自宅に帰った。新人の方に米を炊いていただいたが、予期せぬ闖入者の為に冷えてしまい私の炊いた分との比較ができず残念だった。

山行全体では、ゴンドラを使った体力に余裕のある山行でかつ、日ごろ一緒に登らない方たちと登ることができて、お互いの実力把握ができたと思う。ただし余りにも天気が良くて、写真撮影で一旦停止が多かったのは反省点の一つだと思う。

もうひとつ自分の反省は、前日に睡眠不足で車の運転時に猛烈な睡魔に教われ、山岳部の重要人物共々天国に行くところだった。帰りも何とか睡魔に勝てたが、全員が寝てしまうとはいったいどういうことかと思う。緊張が足りないと感じた。【神戸】

今回初の合宿参加、天候にも恵まれとても素晴らしい山行でした。

しかし合宿に必要なスキル等の事前調査もせず、例会と変わらない気持ちでの参加をしていた事を反省。リーダーや先輩方にもっと喰い付き食欲に知識を得るべきであったと思いました。

車では交代要員として割り切って先に一眠りさせて頂き、快適に移動できました。これからは交代要員も決めておいた方が良くかと思いました。【日置】

初めての合宿参加であり不安もあったが、雪が思ったよりも少ない&とても良い天気であっさりと登れてしまった。それでも初の雪上でのテント泊ということもあり、ポールを雪の上に置いてはいけないということや、薄いシュラフで寒い思いをするなどいい経験になりました。

また合宿ということで普段の例会よりも人数が多く、今まで一緒に登った事の無い方々と登山できて楽しかったです。ありがとうございました。【白井】

多くのメンバーで行ける山は賑やかでいいですね。

合宿と言うには工程的に少し物足りないBパーティーでしたが、新人を対象にしたテント設営方法やミニ雪訓も出来、コミュニケーションもしっかり取れ、有意義な山行でした。

「八方は14.5kでルンルン！みなさんありがとう！」【町田】

今年も、春合宿に参加できて嬉しく思いました。私も、今年で62歳。いつまで、皆と雪山を楽しめるかな？と思いながら、毎年参加を重ねています。

頂上からの白馬三山、剣岳のパノラマが見事でした。こんな幸運な天候に恵まれ、テントの中では愉快的な仲間との酒を楽しみ、2日間ではあったがよい山行であったと思います。【津田】

久振りの春山合宿参加でしたが、好天に恵まれ楽しい山行ができました。皆さんありがとうございました。また、御一緒しましょう。【金子】

最後の春山合宿と想定し、体力強化を図ってきた。メンバーと天候に恵まれ最高の春合宿となった。

【天野】

2日間、天候も良く唐松岳山頂からの眺めは絶景でした。

今回、初めての春山合宿に参加して、雪山の歩き方（アイゼン歩行）や滑落停止を実際にやってみて大変勉強になりました。今年は合宿や例会に積極的に参加して山の厳しさなどを学んでいきたいと思いますので宜しくお願いします。【後藤】